



地方独立行政法人
那覇市立病院



梯
ぎざはし

2015.11
Vol.

28

泌尿器

<http://www.nch.naha.okinawa.jp>

「前立腺」について

はじめに

突然ですが、前立腺をご存じでしょうか？

前立腺肥大、前立腺がん等、聞いたことはあるが、身体の一体どこにあるのか、どのような働きをするのか、ご存じない方が多いのではないのでしょうか。

前立腺は「男性」特有の器官であり、女性に前立腺はありません。膀胱のすぐ下で膀胱とつながっており、前立腺の中をトンネルのように尿道という尿の通り道が貫いています（図1）。

つまり前立腺が大きくなると尿道を圧迫し、道が狭くなることで、トイレが近くなったり、尿の勢いが悪くなります。その状態を「前立腺肥大」といいます（図2）。前立腺は年齢を重ねる毎に大きくなることが分かっており、個人差はありますが、

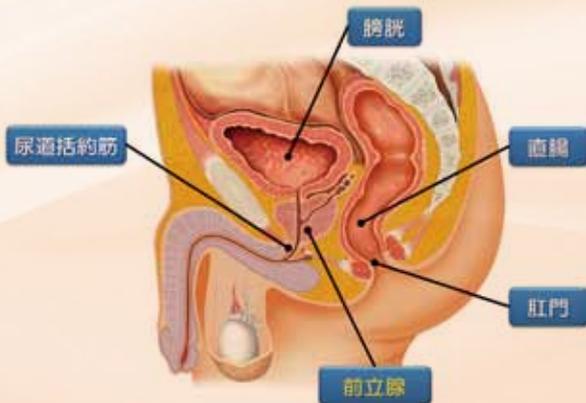


図1：前立腺の位置について



図2：前立腺肥大について

(図3)。

るといわれています
に多い「がん」とな
る

すべての男性が実感する症状となるかも知れません。もちろん自分も将来、前立腺肥大で悩むことも考えられます。

前立腺の働きについては、精子に栄養を与えるように液体を分泌するといわれていますが、その働きについては、まだ不明

なことが多いと言われています。

では、「前立腺がん」という病気を聞いたことがありますか。

60歳以上の壮年期以上で多い疾患ですが、年々増加傾向となっており、2020年には、肺がんに次いで男性が罹る2番目に



医療特集



たまき みつよし
玉城 光由
那覇市立病院 泌尿器科
日本泌尿器科学会 専門医

前立腺がん罹患数の増加 (将来予測)

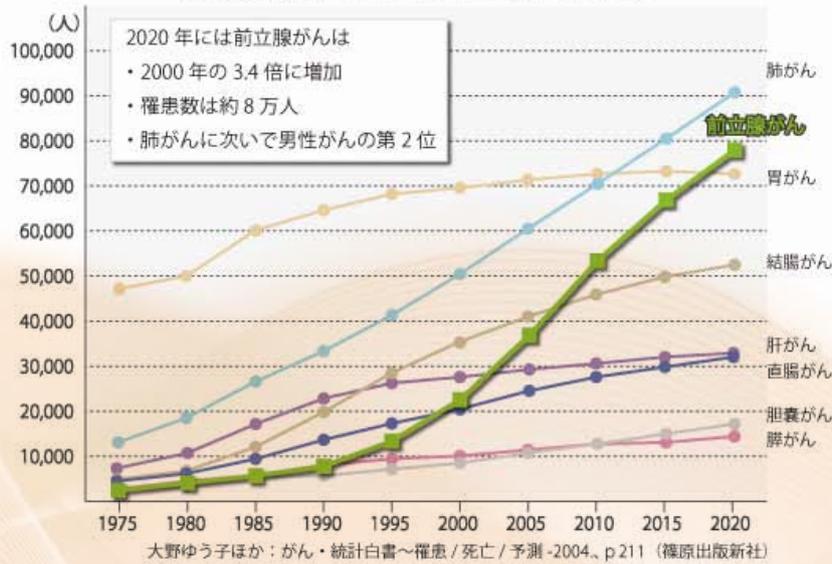


図3：前立腺がん患者数の推移

PSA値 (ng/ml) と前立腺がん発見率 (%)



図4：PSA値と前立腺がん発見率について

PSA検診のメリット	PSA検診のデメリット
<ul style="list-style-type: none"> ●少量の血液検査で、正確かつ簡便に検査できる ●受診により、がんが転移した状態で発見される可能性が低くなる。 ●前立腺がんによる死亡率の低下 ●年1回の定期検査により、致死的な進行がんでの発見はほとんどなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●前立腺がんの約10%は1回の検査では見過してしまふことがある。 ●PSAを作らない一部のがんはPSA検査で確認することができない。 ●がんが無くても、PSA値が陽性になることがある。

図5：PSA検診のメリットとデメリット

です。併症は極めてまれありますが、重い合の出血、発熱などがあります。針生検では、麻酔時の注射針を刺す時の痛み、局所麻酔の場合は生検時に軽い痛みを伴う場合があります。合併症は軽いものも多く、頻度の高いものは血尿、直腸からの出血、発熱などがあります。針生検は極めてまれです。

女性にとつての子宮がんと同様に、男性にとつて身近な「がん」になっていくと考えられています。さらに遺伝も関係しており、肉親に前立腺がんがいた場合、「数倍」前立腺がんになりやすいといわれています。血の繋がった

人が前立腺がんと言われた場合、注意が必要で、前立腺がんは通常、初期では何の症状もありません。症状では自分が前立腺がんになっているかは分かりません。そこで血液検査で「PSA」(前立腺癌特異抗原)を検査し「4.0ng/ml」以上であれ

ば、前立腺がんの可能性が高いと判断し(図4)、病院でさらなる精査を追加します。(図5)。その精査とは、前立腺の一部を針で取り、取った前立腺の一部を顕微鏡で見たり、「がん」が無いか調べる「針生検」です。この検査により、確定診断を行っていただきます(図6)。

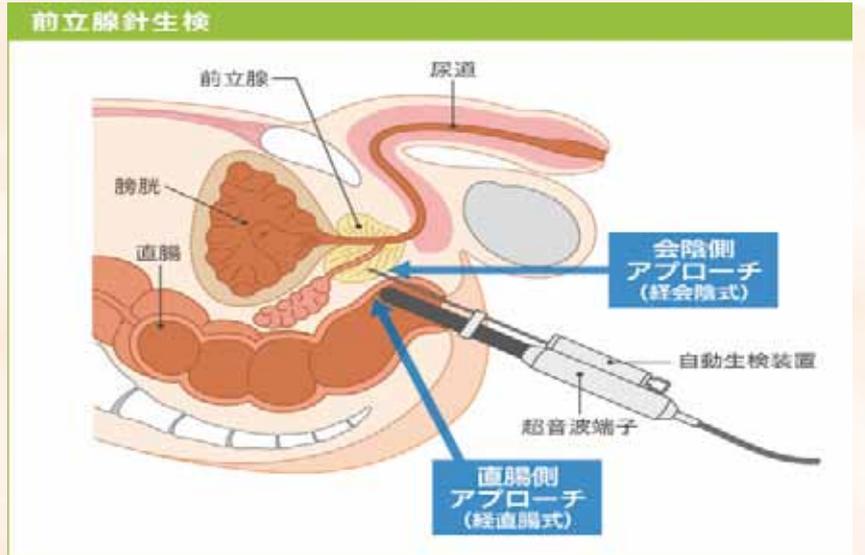


図 6 : 前立腺針生検について

あつても「がん」が検出されないことも多く、前立腺が大きいとか、炎症などがあると PSA が高く出てしまいます。そういう方は PSA が短期間でどんどん上昇しなにか3ヶ月ごとに PSA をチェックします。定期検査で前立腺がんが本当にあれば、益々 PSA が上昇してくることが多いです。

また、前立腺がんの特徴としては進行すると骨に転移することが多く、腰部痛など骨の痛みで見つかることがあります。

治療についてですが、前立腺がんと診断され、転移がない場合は大きく分類し「手術・放射線療法・ホルモン療法」のいずれかを選択してもらう事が多いです(図7)。

転移を認める場合は「ホルモン療法を通常選択します。ホルモン療法とは、男性ホルモンが前立腺がんを進行させる事が分かっているため、内服薬と注射で強力に男性ホルモンを抑える治療方法です。詳しくは泌尿器科専門医を受診し、ご相談下さい。

しかし、PSAの値が「4.0ng/ml」以上で

針生検で採取した前立腺の組織は、顕微鏡で観察し、がん細胞がないかどうかを調べます。針生検の結果が出るまでには約1週間ほどかかります。

がん細胞が見つかった場合は、その悪性

度を調べて、治療法を決める際の参考にし

ます。

さいごに

PSA検査は血液検査で簡単にできます。特に60歳以上で PSA を測定されたことがない人は一度自分の PSA の値を確認されてみてはどうでしょう。



図 7 : 前立腺がんの治療について

平成 27 年度 第 1 回がんフォーラム「前立腺がんについて」を開催

平成 27 年 10 月 18 日（日）に牧志駅前ほしぞら公民館にて平成 27 年度第 1 回がんフォーラムを開催しました。今回は当院で入院・通院されている方も多い「前立腺がん」をテーマにしています。

フォーラムは 2 部構成とし第一部は、当院泌尿器科医長の大城琢磨先生に前立腺がんの概要「前立腺とは何か」、「検査方法や前立腺がんになる原因・予防」についてお話いただきました。

前立腺がんは症状がないため早期発見するには PSA 検査が重要だということ、また前立腺がんになる原因としては加齢や遺伝、生活習慣が関連していると言われていたが、どんなに気を付けてもがんになる可能性があるため、やはり PSA 検査を定期的に行うことが大事だとお話しされていました。



図 1 :大城琢磨 泌尿器科医長の講演



図 2 :会場の様子

その後、当院総合相談センター医療ソーシャルワーカーの島袋恭子氏よりがん相談支援センターの紹介をして頂きました。がん相談支援センターは院内の患者さんだけでなく、どなたでもご利用することが出来ます。また相談内容もがんの標準治療について、情報収集の方法、医療費について、利用できる制度の紹介、医療者・家族とのコミュニケーション等様々な内容でご相談いただけます。患者サロンや出前講座等で一般の方にもがん相談支援センターの広報を行っていますが、まだ知らない方もいらっしゃるの、何か困ったことがあれば相談できる場所があるということをぜひ知って頂ければと思っています。

第二部では「前立腺がんの治療」について、大城琢磨先生と当院放射線科部長の足立源樹先生に講演いただきました。

大城先生には治療方法の決定について病期が大きく関係していること、また最近の手術の方法やホルモン療法について写真やイラストを用いて分かりやすくお話していただきました。

足立先生には、放射線治療についてお話しいただき、放射線治療は痛みや熱さもなく、前立腺がんについてほとんどの方がこれまで通りの生活を送りながら通院で治療できるとお話しされていました。

最近の治療方法については周囲の正常組織への影響は少なく、腫瘍への線量増加を可能にできる IMRT という治療方法等について少し難しい内容でしたが、参加者にも分かりやすくお話しして頂きました。

参加者からは多くの画像（写真）やイラストで分かりやすい説明でしたと今後の治療の参考にしたいという声を頂きました。当院では年に 1～2 回程がんフォーラムを、様々なテーマで開催しています。また、がんフォーラムだけではなく年に 4 回の乳がん塾やリンパ浮腫講習会など患者さんやご家族の方、一般の方対象の講演会等行っております。開催情報は随時当院 HP に掲載しておりますのでご確認下さい。その他気になることがありましたら、お気軽にご相談下さい。



図 3 :足立医師（中央）・大城医師（右）



平成27年度 登録医総会・地域医療連携特別講演会・連携交流会開催

医療療支援部 地域医療連携室 前原 修



平成27年9月17日(木)、当院が主催します『平成27年度 登録医総会・特別講演会・連携交流会』を今年度もホテル日航那覇グランドキャッスルにて開催しました。

院外から223名、院内スタッフ参加者が142名の合計365名となり、今回で3回目を迎えるトリプル開催(登録医総会・特別講演会・連携交流会)において、最多の参加者数となりました。

【登録医総会】

18時を過ぎた辺りから来場者が少しずつお見えになり、定刻の18時30分から5分遅れでのスタートとなりました。

まずは照喜名院長が開会挨拶を行いました。続けて、平成26年度の連携実績報告を新垣地域医療連携室長が行いました。特にご意見等は上がりませんでした。昨年の実績は紹介率が71.9%、逆紹介率が

59.6%と共に地域医療支援病院の承認要件(紹介率65%以上、逆紹介率40%以上)を上回っており、新垣室長からは『今後も地域医療連携にご協力頂きたい』と地域へのご理解と御協力をお伝えしました。

【特別講演会】

19時からは特別講演会として、宮崎県立日南病院臨床検査科部長・地域連携科部長の木佐貫篤先生を講師としてお招きし、「地域医療連携のこれから」私たちの役割を考えよう」をテーマとしてお話し頂きました。



(上・左下・右下)受付担当スタッフ



当院広報誌「きざはし」・医学雑誌



演者:木佐貫 篤先生(宮崎県立日南病院)

先生をお招きするにあたり、毎年開催されている『全国連携室ネットワーク連絡会』や『日本医療マネジメント学会』等で、3年前から直接講師の依頼をし、ようやく実現することが出来たのを非常に嬉しく思いました。

講演の内容は病理医である講師がなぜ連携業務に携わっているのか？という素朴な疑問から始まり、『医療連携とはなんぞや？』の定義の再確認。各病院に設置さ



地域医療連携特別講演会の会場の様子

れている『連携室』の役割、宮崎県立日南病院の連携部門の紹介等を話され、連携業務では病院と他の医療機関の顔の見える化【Face to Face】の関係が重要であり、そこから病院・クリニック・患者さんが【Win・Win・Win】の関係になる事が一番大事だという事を強調されていました。

その後、地域医療連携の変遷の振り返り、これから地域医療連携を行っていく上でのポイント解説、日南市を含む日南・串



地域医療連携特別講演会の座長を務めた内科の新垣均先生

間医療圏での取り組みの紹介・活動状況報告、多職種で取り組む地域医療連携の必要性の解説、医療機関のみならず行政を含めた『地域』での取り組みを国は求めており、それに対しどのように対応していくか等、今後当院も直面するであろう問題を分かりやすく解説して頂きました。



(上・右)
地域医療連携特別講演会
会場の様子



会場案内係：(左から)比嘉師長・大城副院長・喜屋武副看護部長・又吉師長

講演後、会場移動・休憩時間を10分に設定し直し、『連携交流会』を開催しました。

【連携交流会】

特別講演会場より少し小さい会場ではありますが、講演会から引き続き参加のお客様及び職員であつという間に会場は満員になりました。

開会の挨拶を屋良副院長に、照喜名院長に病院長挨拶を、診療部長挨拶大城副院長に行っていたが、プログラムでしたが、特

別講演が20分超過しているのを考慮していただきコンパクトに挨拶をしていただきました。その甲斐もあって、来賓の山城千秋那覇市医師会副会長挨拶の際には、通常通りのスケジュールに時間が回復していました。



照喜名院長による挨拶



大城副院長兼診療部長による挨拶



山城那覇市医師会副会長による来賓および乾杯の挨拶

山城那覇市医師会副会長には来賓挨拶の後、高らかに乾杯のご発声も頂き、交流会がスタートしました。それと同時にお腹をすかせた皆さまが一斉に食事に向かつて行かれました。一応待ち時間の小腹の足しにと考え、乾杯までの時間は円卓にオーダーも準備していたのですが、そころではなかったようです。お待たせしてすみませんでした。

食事・歓談の合間で当院の新電子カルテシステムの紹介も含まれている『地域連携システム』の紹介も行い、10月1日(木)から運用開始し、患者さんからの同意取得方



交流会の会場の様子



特別講演会講師の木佐貫先生を囲んで



会場では地域連携の輪が広がりました

法や、個人情報等を扱う上で再確認を要する事などクリアしなければいけない事はたくさんありますが、焦らずゆっくりと安全・確実に取り扱いが出来るように準備しております。

また、会場内では特別講演会講師の木佐

貫先生に質問できなかつた皆さんが順番待ちをして質問をし、また写真撮影している風景が最後まで見られました。閉会の挨拶を藤本副院長が行い閉会となりました。今回も講師をお招きして特別講演会を開催する事で各医療機関におけるこれか

らの連携体制構築にお役立て頂ければと願っております。地域の医療機関と協力し、Face to Face を大事にしながら今後も地域医療連携業務に取り組んで行きたいと思っております。

Activity Report 活動報告



↑ 訓練実施前の出陣式の様子 ↓

平成27年10月24日(土)に那覇軍港で那覇市総合防災訓練が開催されました。当院は毎年この訓練に参加しており、今年も医師、看護師、事務局合わせて24名の職員が救護訓練に臨みました。訓練は沖縄本島南西沖での地震と大津波の発生を想定したものです。消防、海上保安部、市職員、医療機関、民間企業、その他多数の機関が参加し、ドクターヘリまでも出動する大規模な訓練内容でした。



↑ 各職種が連携してスムーズな救護を行っている様子



↑ 医師・看護師・事務職スタッフによる連携の様子



↑ 那覇市消防本部と協働して救護活動を行う様子

当院が参加した救助・救護部門では、消防部隊やその他防災機関が明治橋周辺海域で漂流者や負傷者を救助し、そこから救護テントに搬送されてくる患者に対して医療機関が応急処置を行い、救急車



↑救急科の寺田先生によるレクチャー

を手配するという流れで訓練を実施しました。訓練中の患者への処置、指揮本部に報告する患者情報の把握、搬出優先順位決定などについては、概ね良好との評価でした。訓練前に救急科の寺田先生より教わった「災害現場では「指揮系統」や「連携」が非常に重要である」ことを今回の訓練で参加者全員が改めて実感できました。



↑訓練実施前に参加者全員で最終確認を行っている様子

実際の災害現場では、人員・モノ・情報等すべてが不足し、訓練とは比較にならないほどの混乱が予想されます。そのような状況でも救護活動を行うためには、各機関の連携が不可欠です。今後は、いつ・誰に・何を報連相すれば良いのかという指揮系統を理解した上で、院内や各機関との連携を密に行うことで、現場での動きをより円

滑にしていきたいと思えます。

東日本大震災以降、日本全国で防災意識が高まっています。防災のために何を備えるべきかを考えたとき、私たち医療従事者には、自分の命だけではなく被災者の命をも守る責務があります。今回のような訓練は、被災者の命を守る上で最も必要な「備え」ではないでしょうか。防災訓練での経験を活かし、災害時でもより多くの人命を迅速かつ的確に救える医療機関を目指し、頑張ります。

文責・総務課 庶務グループ



↑訓練実施後に参加者全員で記念撮影



ホスピス緩和ケア週間パネル展を開催しました。 がん診療連携室 佐喜眞

平成 27 年 10 月 5 日（月）～10 月 9 日（金）の 1 週間、当院 1 階ロビーと那覇市役所本庁 1 階ロビーにおいて「ホスピス緩和ケア週間パネル展」を開催しました。

今年は各職種からパネルを出してもらい、お薬のことやリハビリ、在宅緩和ケアや社会保障制度などの幅広い内容のパネルを展示しました。今回はブース入口にマスコットキャラクターのオレンジバルーンを置くことで、去年よりもブースに入ってパネルをご覧になったり、冊子を手にとっている方が多いように感じました。

当院 1 階ロビーでは毎年相談コーナーを併設しており、今年も人気のアロママッサージに始まり、理学療法士や作業療法士、医療ソーシャルワーカー、栄養士の各職種による相談コーナーを開催することが出来ました。

また、初の試みとして「ミニレクチャー」を行い、吉澤龍太看護師は「緩和ケアのおはなし」、外科の友利寛文先生は「漢方について」というテーマで、会計待ちや診察待ちの患者さんに対して話して頂き、とても好評でした。

那覇市役所本庁 1 階ロビーでもパネル展だけではなく、当院理学療法士 金城孝郎氏によるリハビリの相談会を行いました。この様子は沖縄タイムスにも掲載されております。

今回の開催を通して、新たに挑戦したレクチャーの手応え、より改善が必要と思える面があったこと等から、反省を踏まえ来年もよりよい内容で開催できるようにしていきたいと思えます。



↑ 友利外科医師のミニレクチャーの様子



↑ 吉澤看護師によるミニレクチャーの様子



← 理学療法士、作業療法士による相談会の様子



↑ 大人気のアロママッサージによる緩和ケア



↑ 那覇市役所 1 階ロビー展示の様子



和風ハンバーグ

ジャポネソース添え



材 料

☆和風ハンバーグ (中 6 個分)

豚挽肉	400g
塩麹	10g (小さじ2)
すりおろし生姜	10g (小さじ2)
卵	1 個
絹ごし豆腐	85g
高野豆腐 (又は粉状タイプ)	33g (2 個)
玉葱	150g (1 玉)
焼き用として	
油	12g (大さじ 1)

☆ジャポネソース

大根	300g (1/4 本)
すりおろしにんにく	5g (小さじ1)
すりおろし生姜	5g (小さじ1)
砂糖	9g (大さじ1)
みりん	30 c c (大さじ2)
酒	30 c c (大さじ2)
酢	30 c c (大さじ2)
濃口醤油	50 c c (大さじ3)

作り方

☆和風ハンバーグ

- ①玉葱はみじん切りし、タッパー等のレンジ対応容器に入れて電子レンジで5分程度加熱後あら熱をとる。
- ②高野豆腐は硬いまま おろし金ですり下ろして粉状にする。(粉状タイプもあります)
- ③材料を全部加え、よくこねる。
- ④6 等分にして好きな形に整える。
- ⑤ハンバーグは油を引き熱したフライパンで表面は強火で焼き色をつけ、ひっくり返したら弱火でじっくり加熱。蓋をして蒸し焼きにする。

※中心に串を刺して肉汁が透明なら中心まで加熱 OK!

小麦アレルギー対応 OK!



☆ジャポネソース

- ①大根の皮はむき すり下ろす。(大根おろしを作る)
- ②①と調味料を材料をすべて鍋に入れ、一煮立ちさせる。



冷めても美味しいジャポネソースはドレッシングとしても楽しめますよ♪

栄養成分 (ハンバーグ 1 個ソースを含む)
 エネルギー：300 キロカロリー
 塩分：1.6g



【高野豆腐のお話】

皆さんは高野豆腐を使ったことがありますか? 「料理方法が難しい」と思われがちですが最近の高野豆腐は湯戻しをしなくてもすぐに調理することが出来ます。鉄や亜鉛、カルシウムなどの栄養価に優れており、長期保存が可能なので保存食品としても大活躍しますよ。

また、高野豆腐にはレジスタントタンパクが含まれており、油の多い肉料理と一緒に食べるのがオススメです。
(注1) レジスタントタンパクって?

レジスタントタンパクとは体に入っても消化を受けにくいタンパク質のことです。

このタンパク質は、腸中でコレステロールから作られた胆汁酸を捕まえて排泄してくれる働きがあるため、体に再吸収されるコレステロールの量を少なくしてくれます。また、コレステロールと同様に脂肪も捕まえて排泄してくれるため、食事から摂った油が体に取り込まれる量を減らしてくれます。

QCサークル沖縄支部大会にて奨励賞受賞

平成27年10月16日にQCサークル沖縄支部主催のQCサークル沖縄県支部大会が産業支援センターで開催されました。沖縄県内の8つの企業・団体が参加しました。



↑大会会場の様子

那覇市立病院からは急病センターのQC活動チームが出場しました。

活動テーマ「急病センターにおける急性冠症候群(ACS)患者の血管造影室送り出しの時間短縮」を発表し、「受付から緊急カテーテル術出し」までの時間短縮に取り組むことは患者さんの生命予後の改善にも結びつき、大変重要なQC活動であると、発表者の上地一 望看護師は強調しておりました。この取組により看護師の時間短縮への意識向上やスキルアップ、また他職種との連携・協力が不可欠であることも学べたと言うことでした。



これからもチーム医療を活かした質の高い医療を患者さんへ提供出来るよう継続して活動をしていきたいと抱負を述べていました。

大会スローガン「見て・聴いて・学ぼう 職場の改善活動」が掲げられ、活気あふれる大会の中、那覇市立病院QC活動チームは奨励賞を頂くことが出来ました。



上地さんの喜びの声

多くの人の協力があって業務改善に取り組みました。また今回の大会に出場したことで自分自身の力にもなり、QC活動の大切さに気づくことが出来ました。応援して下さいました皆さま誠にありがとうございました。

※QCは、quality control(品質管理)の略として、職場内で自発的に集まった小人数の集団が、製品・サービスの品質管理や改善、安全対策などに取り組むことである。この活動により、グループ全体の能力・自主性の向上、人材育成、職場活性化などの相乗効果が期待できる。

回答

この度は、大変貴重なご意見を頂き、大変感謝しております。

受付の順番を守らない方に対しては受付スタッフより注意を行い、順番を守って頂くよう声を徹底したいと思えます。そしてそのような状況を把握できるように窓口よりしっかり観察を強化してまいります。

また足の不自由な患者さんに対しては、窓口スタッフが代わりに受付を行うなどの対応を行いたいと考えております。

ご意見

1階正面玄関を入って、目の前奥に受付カウンター(初診受付・再診受付)がありますが、そこで順番待ちをしていた際に、並んでいない方が横から割り込んでくることがありました。並んでいる方の中には、足の不自由なお年寄りも含まれており、横から割り込んできた人がいるために、なかなか受付が出来ない状態を目にしました。それでも順番よく並んでいるのを見て、とても残念に感じました。順番よく受付が出来るような工夫をされた方がよろしいかと思えます。対応の方よろしくお願ひします。



ふれあいポストとは・・・

病院に対する意見・要望・苦情の投書箱のことです。当院では院内各所に「ふれあいポスト」を設置し病院改善や患者サービス向上に努めています。

登

録

医

紹

介

当院と連携してる登録医を紹介しています

当院は病診連携を一層推進するために登録医制を設けております。オープンシステムも備えています。お問い合わせは地域医療連携室まで！ TEL.098-884-5134（直通） FAX.098-886-5502

つかざん腎クリニック

【診療科】腎臓外来、人工透析、内科（糖尿病、高血圧、慢性腎不全）

【検査】血液・尿検査、心電図、レントゲン **透析送迎あります**



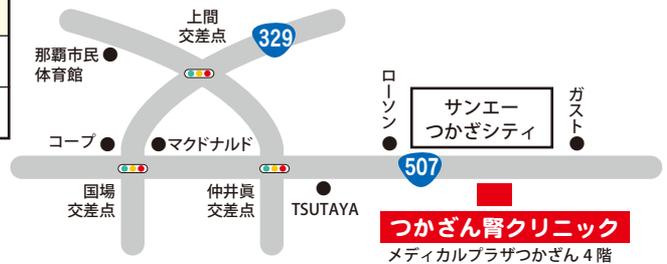
院長 安達 秀樹

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00 受付	○	○	○	休	○	○
午後 1:30~5:30 受付	○	○	○	休	○	休

休診日：木曜・土曜午後・日曜・祝祭日

☎ **888-3200**

〒901-1177 南風原町津嘉山 1490 番地メディカルプラザつかざん 4 階



まんまる子どもクリニック

【診療科】小児科

【検査】腹部超音波検査、尿一般定性検査、インフルエンザ抗原迅速検査、溶連菌抗原迅速検査



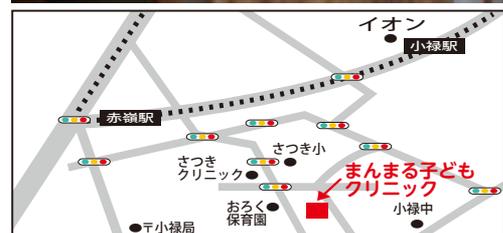
院長 比嘉 睦



	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:30 受付	○	○	○	休	○	○
午後 2:00~5:30 受付	○	○	○	休	○	○

休診日：木曜・日曜・祝祭日

☎ **858-0083**



〒901-0153 那覇市宇栄原 2 丁目 18-8

前号の「きざはし 27号」において、みやびクリニックさんの休診日に誤りがありましたので訂正したものを掲載致します。お詫び申し上げます。

みやびクリニック

【診療科】耳鼻いんこう科、糖尿病内科

【検査】終夜睡眠ポリグラフ検査、パルスオキシメーター検査、アクチグラム検査



院長 仲西 雅人



	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00 受付	○	○	○	休	○	○
午後 2:00~5:30 受付	○	○	○	休	○	※

休診日：木曜・日曜・祝祭日 ※土曜日は16:30まで
(内科は水曜午前中のみ診療)

☎ **835-9660**



診療科

内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科
血液内科 腎臓内科 糖尿病内科 内分泌内科
リウマチ科 小児科 精神科 外科
呼吸器外科 消化器外科 小児外科 内視鏡外科
乳腺外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科
泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 救急科
リハビリテーション科 病理診断科 放射線診断科
放射線治療科 麻酔科 歯科口腔外科 歯科

受付時間

8:00~11:00 / 13:00~16:00

※診療科によって異なる



病院理念

- 一、私たちは、市民の安心できる病院をめざします。
- 一、私たちは、微笑みと優しさを持って接するよう努めます。
- 一、私たちは、診療内容をわかりやすく説明・開示するように努めます。
- 一、私たちは、いつも最新の質の高い医療をめざします。
- 一、私たちは、地域の医療機関と協力して開かれた病院を目指します。
- 一、私たちは、医療・福祉・保健の相互連携の発展に努めます。

患者さんの権利

- ・だれでも人権が尊重され良質な医療を公平に受ける権利を持っています。
- ・病気、検査、治療などについて、理解しやすい言葉や方法で十分な説明を受ける権利があります。
- ・十分な説明を受けた上で、治療方法などを自分の意志で選択する権利があります。
- ・診療の過程で得られた個人情報は守られ、プライバシーは可能な限り尊重されます。
- ・自分の診療記録情報の開示を求めることができます。



〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1 TEL 098-884-5111(代)

*土・日曜日、祝日、慰霊の日、年末年始は急病センターにて終日診療

*手話通訳を希望される方は予約が必要となります。事前に医療福祉相談室にご連絡ください。医療福祉相談室(内線127)